

理研会報

発行日：平成26年9月26日

号数：No.369

発行：印旛地区教育研究会理科研究部

H P：http://rikainba.com

メール：rikainba@yahoo.co.jp

★★



去る8月26日(火)、第64次印教研集会理科研究部会が開催されました。小学校部会は成田国際高等学校、中学校部会は成田小学校を会場とし、それぞれ、5つの部会から貴重な提案をいただきました。そして、北総教育事務所主席指導主事 佐久間 保男 先生、八街市立八街中学校教頭 大坊 孝 先生より、今後の理科指導の在り方等についてご助言をいただきました。選考の結果、小学校部会は3部会、中学校部会は5部会が県教研へ進むことになりました。

また、中学校部会では昨年度長期研修生として研究された成田市立西中学校長岡奈緒美先生の研究発表がありました。DNAの抽出実験の実演もあり、貴重な研究成果を知ることができました。助言者の先生方、提案された各部会の先生方、司会、記録、受付補助等でご協力をいただきました先生方に、心より御礼申し上げます。



☆ 参観された先生方から ☆

(敬称略)

佐倉市立西志津小学校 小山 淑郎

毎年何かこれからの授業で生かせるものはないかと考えながら、またどんな実践が聞けるのかを楽しみに参加しています。今年は『実感』や『実生活』をキーワードにした提案が多くありました。

理科で学習する内容は身の回りに関するものばかりです。だからこそ自分の生活と関連させ、気付かせていくことが大切です。しかし単元によっては実際に目に見えないもの、見せて説明することが難しいものもあります。それをいかに実感させていけば良いのか各部会の提案も聞いた時に、「こうすればいいんだ!」という発見がたくさんありました。

例えば3部会の提案では、ユニット毎に体験活動や実験をする時間を取り入れて授業を行っていました。妊婦体験、胎盤のモデル実験、羊水

のモデル実験など目に見える形にさせることで理解を深めさせていました。教材・教具の工夫によってこんなにも実感することができる授業になるのだと感じました。

児童が『実感』できる学習にするための新たな取り組みをたくさん勉強することができました。印教研でのお土産を自分の授業だけでなく本校にも広め一人でも多くの児童に理科の楽しさを伝えていきたいです。

白井市立南山小学校 平山 和宏

各部会から計5本、とても中身の濃い研究発表をお聞きすることができた。提案された先生方は、この発表の日までに、大変なご苦労があったことと思い、敬意を表したい。

提案については、学習指導要領解説理科編、改善の具体的事項にあるように、「実生活と関連付けて実感を伴った理解」というところを各部会とも重視している。

1部会では、仮説に「指導計画の工夫」「具体的体験活動を取り入れる」。6年生の「人の体のつくりとはたらき」の授業実践。



2部会では、授業改善の視点として「具体的な体験の工夫」「主体的な課題解決への支援」「実際の自然や生活との関連付け」。それぞれの視点ごとに授業実践。

3部会では、仮説に「具体的な体験活動を重視」。5年生の「人のたんじょう」の授業実践。

4部会では、仮説に「体験活動を意図的に」「効果的な表現活動を取り入れる」。4年生「閉じ込めた空気や水」の授業実践。

5部会では、「実感を伴った理解」を「体得・習得・納得」の「理解」とし、主に6年生「てこのはたらき」の授業実践。各部会ともポイントを絞った提案でとてもよい研修の機会となった。

講師の佐久間保男先生からは、「問題解決の力を付ける、このことを支えるのは観察、実験である。そのために、まず、教員自身が理科の面白さを知っていること。」



というお話をいただいた。「まず、教師自身」心して、日々の実践を行っていきたい。

四街道市立旭中学校 林 裕美

本年度より新規採用として旭中学校に着任し、初めて印教研集会へと参加させていただきました。長期研修を終えた長岡先生を始め、各部会の発表は、自分の所属する研究部会以外の様子などを知る良い機会ともなりました。また様々な工夫を凝らした授業展開などの発表は感心するばかりで授業の参考にさせていただきたいと思いました。どの先生方の発表にも共通していたのは、生徒たちにとって理科が身近なものとなって欲しいという願いにとれました。私も理科を教える同じ教員としてその願いを常にもって教材研究に励みたいと改めて思いました。そして今回は、所属する第5部会の提案者として発表もさせていただきました。沢山の先生方の前で発表するのはとても緊張しましたが、これからの研究員として活動していく上で良い経験にもなりました。発表後の質疑応答では、真摯なアドバイスをいただき、その中でも特に助言者であ

る大坊先生の「中学校理科では一つの概念をずっと使い、つながりをもつことが大切」ということを自分の指針にしたいです。本日学ばせていただいたことを今後実践していくとともに研究にも努め、授業力を高めたいです。

栄町立栄中学校 半田 耕之

毎年の印教研集会は、多くの先生方の実践報告を聞けるという楽しみを感じて、また、何か自分の指導に活かせるものはないかという学びの場として参加しています。今年度は、『DNA抽出実験法』や『放射線に関する指導法』、『つまずきに対する指導』など、すぐに自分の授業にも取り入れたいような報告が多くありました。特に5部会の『理科のつまずきに対する、適切な指導方法の検証』では、細かい分析や綿密な実践がなされており、同じ指導者として刺激を受けたと同時に、まだ経験の浅い自分にとって大変有意義な時間となりました。また、提案者として研究に参加して感じたことは、どの部会も多くの学校の協力が必要であることです。私も実際に多くの学校にアンケートや授業実践の依頼をしましたが、さらに多くの学校が協力するためのネットワークもこれから大切になってくることを感じました。印教研集会で学んだことを学校現場に還元していくことはもちろん、自分も含めさらに多くの人が研究に参加しやすい研究部を目指していくようにしたいと感じることができた1日でした。



多くの発見があり、今後の理科指導に生かせる研修会になったようです。ご感想をお寄せいただいた4名の先生方、ありがとうございました。



お知らせ

印教研理科研究部 HP が新しくなりました。「先生方専用ページ」では、長期研修報告資料や自由研究指導法研修会資料を見ることができます。